

2 熊本博物館の紹介 【博物館のあゆみ】

熊本博物館が自然系・人文系資料を有する郷土の博物館として設立されたのは昭和27年(1952年)のこと。それからいくつかの変遷を経て、昭和53年(1978年)、現在地(熊本城三の丸地区)に新築・移転した本館は、プラネタリウムを併設した「独自性のある総合博物館」で、熊本城天守閣内には当館の分館がありました。

その後、40年近くが経過し、時代の流れに伴う新たなニーズや進歩する展示・保存技術に対応すべく「リニューアル」に向けた準備が始まります。平成27年(2015年)10月から大規模改修工事に入り、「平成28年(2016年)熊本地震」を挟んでリニューアルオープンを果たしたのが平成30年(2018年)12月1日のことでした。

創立以来、当館の基本理念は「広域情報型・市民開放型・郷土立脚型・人間密着型の博物館」で、県域に広がる多彩なフィールドの紹介、調査・研究の成果を市民に還元する取組、郷土熊本の多様で豊かな資源の活用、時代や人々の要請・要望への適切な対応等を重視してきました。リニューアル後もそれらの基本理念を心に刻み、それぞれの分野(動物・植物・地質・天文・理工・保存科学・考古・歴史・美術工芸・民俗)の特性を活かしながら日々の博物館活動を展開しているところです。

今後も「より魅力的な総合博物館」として多くの方をお迎えし、「来てよかったです。また来るよ!」と喜んでいただけるよう努力してまいります。



熊本博物館 北側玄関付近



2018.12.1 リニューアルオープン初日